

最適税理士探索ネットでは、税理士への見積依頼の際に、下記の項目を明記していただくことを推奨しています（④の明記は最重要）！

① なぜ今回税理士に依頼されるのか（ご依頼の理由）	P2
② 依頼したい業務の具体的内容	P2
③ あなたの会社（ないしあなた自身）の規模、事業内容	P3
④ ご予算	P4
⑤ その他税理士への希望（地域、年齢等）	P7

### 【見積依頼の内容を明確化すべき理由】

⇒ 税理士からのピントの合った提案（見積）を入手するためです。あなたの見積依頼の内容が言葉足らずである場合、まともな提案は入りにくいものとお考えください。

（下記手順に従い見積依頼を作成いただければ問題ありませんので、ご安心ください）

ご利用いただく一括見積システムは、複数の税理士の中からあなたにとっての最適な税理士を選び出していただくためのシステムです。

そのためには、まずあなたが税理士に対して分かりやすい内容で見積依頼を記載する必要があります。

あなたの依頼する内容が曖昧な場合、税理士はピントの合った提案ができない、あるいは提案すらできないかもしれません（曖昧な依頼は税理士にとって魅力的ではないので、提案のモチベーションが著しく低下します）。

税理士からピントの外れた提案が入ることや、あるいは提案がないということは、税理士を選択するあなたにとって有意義ではありません。

あなたが望む条件の税理士を探すには、あなた自身が依頼する内容をある程度はつきりさせておく必要があるのです。

以下では税理士への見積依頼に盛り込むべき各項目について記載します。ご自身の見積依頼の際に是非ご参照ください。

## ① なぜ今回税理士に依頼されるのか（ご依頼の理由）

税理士に依頼する理由は2つしかありませんが、具体的にどのようなご事情でしょうか。そちら（個別内容）を記載してください。

（1）税理士に依頼する事象が新たに発生したため（以下例示です）

- 会社を設立した
- 相続が発生した
- 確定申告を行う必要がある 等々。

（2）既存の税理士を変更する（以下例示です）

- 税理士が引退するため辞任した
- 税理士と報酬の折り合いがつかず解約した
- 現在の税理士が信用できなくなったため解約した 等々。

## ② 依頼したい業務の具体的内容

税理士に対して依頼する業務を明確化する必要があります。あなたの税理士への依頼は何でしょうか。下記に例示しますが、この中から選択するなどし、税理士への依頼に盛り込んでみてください。

### 【会社や個人事業の顧問業務を依頼する場合】

- ・日々の帳簿の記入（会計ソフトへの入力等）を依頼するか、あるいは、自社で行いチェックのみ依頼するか
- ・税務申告書の作成を依頼するか
- ・給与計算（源泉税や社会保険の計算含む）を依頼するか
- ・従業員の年末調整を依頼するか
- ・毎月訪問してもらってアドバイスをもらうか、或いは訪問は3ヶ月に1回等でもよいか
- ・その他依頼したいこと、事前に確認したいことがあれば依頼内容に盛り込む

### 【相続税の申告業務の依頼の場合】

- ・財産の評価業務を行ってもらるか、それとも自分で行き、チェックしてもらるか
- ・税務申告書の作成を依頼するか
- ・その他依頼したいこと、事前に確認したいことがあれば依頼内容に盛り込む

**【年に1回の所得税の確定申告の依頼の場合】**

- ・青色申告か白色申告か（どちらか必ず明記）
- ・事業を行っている場合、決算書作成業務、決算書作成に関する記帳業務を依頼するか
- ・税務申告書の作成を依頼するか
- ・その他依頼したいこと、事前に確認したいことがあれば依頼内容に盛り込む

**③ あなたの会社（ないしあなた自身）の規模、事業内容**

**【会社や個人事業の場合】**

主に年商、資本金、従業員数が規模を示します。あなたの規模によって税理士の手間が変わってくるため、この明記も必須となります。また、事業内容について記載すると、税理士はあなたの依頼内容の理解度をより深めることができるでしょう。

**【相続の場合】**

相続財産にはどのようなものが含まれているのか明記が重要です。

- ① 現金〇〇円
- ② 預金〇〇円
- ③ 株券…上場株：〇〇株式会社株式〇〇株
- ④ 株券…未上場株：××株式会社株式〇〇株
- ⑤ 土地…〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 〇〇平方メートル
- ⑥ …
- ⑦ …

みたいな形でより具体的に記載していただければ良いと思われます。

また、相続人はどなたがいるのか、についての記載があるとよいでしょう。

#### ④ ご予算

一番書きにくいかもしれませんが、一番重要なポイントです。**予算の記載をしない場合、ポイントの外れた提案ばかりになってしまう**かもしれません。

上記①～③までの内容を踏まえ、税理士はだいたい幾らくらいの業務か検討をつけています。その上で、**幾らで発注するかは「あなた次第」**となります。

#### 【税理士報酬の相場なんて存在しない！】

税理士報酬の相場はあっていないようなものです。その税理士の忙しさによって、格安で引き受けてもよい時期があるでしょうし、ベテラン税理士と独立したての税理士では仕事を受ける単価が大きく離れているでしょう。

大事なのは、あなたが「幾ら」なら業務を依頼してもよいかという基準を自分で持つことです。例えば、月額顧問料は 100 万円が「相場だ」と言われたところで、そんな顧問料は払いませんよね。世間の常識は頭の片隅に入れつつも、値段は自分の感覚で決めたいものです。

ですので、**ご予算はあくまで「あなたの基準」で自由に記載**して下さい。

ただし、予算があまりにも低い場合、税理士からの提案は皆無になる可能性がありますので、参考までに最適税理士探索ネットの運営経験から、最低ラインとしての報酬相場の額を下記に記載したいと思います（あくまで参考値に過ぎません）。

#### 【会社や個人事業の顧問報酬に関する参考情報】

顧問報酬は、あなたが依頼する業務次第で変わるものです。税理士の手間が増えれば増えるほど、報酬は増加します。税理士報酬は

$$\text{税理士や職員の時給（事務所によって違う）} \times \text{想定作業時間} + \text{税務リスク料}$$

で決まるものとお考えください。

#### 【様々な業務を税理士にお願いしようとする場合】

帳簿の記帳代行や、毎月の訪問を依頼するなど、手間（時間）のかかる業務を税理士に依頼する場合、どんなに**あなたの事業が小規模であっても最低年間 50 万円**の報酬をいただきたいというのが税理士の本音でしょう（月額 3 万円×12 カ月+決算報酬 15 万円等）。まれに設立したての会社に対し、年間報酬 30 万円程度で対応可能な税理士もいらっしゃいますが、『時間の経過とともにサービスが怠慢となる』、『約束した頻度の訪問は行ってくれな

い』、『翌年度に報酬増額を要求される』、などの落とし穴があるかもしれません。

税務申告書にサインをする以上、税理士にはリスクが付きまといます。決算書の内容が間違っているリスク、帳簿の内容が間違っているリスク等を考えると、ある程度の時間を取ってしっかり内容を把握したいものです。そのためには、ある程度の報酬をいただかなければ対応が困難となるでしょう。

#### 【税理士に手間があまり掛からない場合】

メールや電話ベースでのやり取りを中心に、記帳もあなたがきっちり行い責任をとる、といった風に、税理士の手間やリスクがあまりかからない場合であっても、**20万円～30万円**は顧問報酬としていただきたいところでしょう（最低限のリスク料が勘案されるため）。

#### 【規模がある程度大きい場合】

あなたの事業が年商1億円以上のような、ある程度まとまった規模になると、上記報酬額に年間10万円～20万円程度以上の報酬が追加されるイメージとなります。規模が大きくなればなるほど税理士の手間やリスクが増えるのが通常であるため、税理士報酬は高くなるとお考えください。

上記より大きくかけ離れて安価な報酬で見積依頼をする場合、税理士からの提案が入らない可能性があるでしょう。

しかし、**最適税理士探索ネットの一括見積依頼をご利用いただく場合、いかなるわがままなご依頼でも、それに応えてくれる税理士が見つかる可能性がゼロではありません。**上記の報酬イメージを念頭に置きつつも、「あなたの基準のご予算」で見積依頼をチャレンジしてみたいかがでしょうか。

なお、上記報酬イメージとあなたの顧問報酬のご予算がかけ離れていない場合、自信を持って予算の記載を行ってください。

#### **【相続税申告業務の報酬に関する参考情報】**

相続税の申告が必要なくらい相続財産が潤沢な状況では、税務リスクを減らすために、税理士はきちんと作業しなければなりません。そのため、20万円を下回る報酬は考えにくいです。予算はあなたの基準で考えればよいのですが、中途半端な金額で依頼するくらいならご自身で対応した方が良いでしょう。税理士に依頼する場合、**最低20万円から考えま**

しょう。

そもそも申告する必要があるか否かをきっちり把握する必要があります。申告の必要がなければ税理士への依頼は不要です。申告が必要である場合、報酬は相続財産や相続人の内容次第で報酬は大幅に変化します。通常

基本料金 + 相続の内容による歩合
-------------------

といった報酬体系となります。

基本料金は10万円～20万円程度、相続の内容次第で歩合は10万円～数百万円となります。そのため、どんなに安くても20万円程度は掛かるものとお考えください。

**(なお、申告が必要か否かを判断してもらいたいという場合、最寄りの税理士へ時間相談(1時間1万円等)を試みることをお勧めします)**

#### 【誰に頼むかが重要】

相続税の申告業務は一発勝負なので、「どの税理士に頼むか」がとても重要です。**ある程度の報酬を払い、きっちり業務を行ってもらわないと、申告漏れや財産評価の誤りがあり、後で追徴課税や過料がかかる**など、かえって高くついてしまう可能性が否めません。

ご自身で申告書の作成や財産評価を行い、後で税理士にチェックしてもらい安く済ませる考えもありますが、入念にチェックしてもらうことを強くお勧めします(その場合は報酬額がそんなに安くないでしょうけど)。

上記を踏まえ、予算の記入を行ってください。相続税の申告業務の場合、税理士によっては報酬が青天井になってしまうため、ご予算はあなたにとっての上限金額を記載するのが良いでしょう。

**なお、5万円といった安価で相続税の申告業務を請け負う税理士がいるようですが、通常はそんな少ない報酬の作業ボリュームで完結できるものではありません。税理士の業務のパフォーマンスが著しく低いことが予想されると同時に、依頼者が後で痛い目を見ているという話が後を絶ちません。**

#### 【その他申告書作成業務の報酬に関する参考情報】

所得税の確定申告(事業所得や不動産所得以外)や贈与税の申告業務等、単発的な申告業務について、これもボリューム次第ですが、通常5万円～10万円の範囲が多く見受けられます。たまに2万円程度で見積依頼をされる方もいらっしゃいますが、税理士から提案が入るか否かは運次第といったところです。

## ⑤ その他税理士への希望（地域、年齢等）

税理士事務所の所在地や、年齢、税理士のバックグラウンド等の希望事項があれば記載することをお薦めします。

（例示）

- ・電車で1時間圏内の税理士限定でお願いします。
- ・30代40代の若手税理士限定でお願いします。
- ・美容院の税務顧問の経験がある方をお願いしたいと考えています。
- ・輸入業に詳しい方をお願いしたいと考えています。
- ・相続税の申告業務を50回以上行ったことがある方をお願いしたいと考えています。

以上、ご精読ありがとうございました。税理士からより良い見積を入手する目的では是非当レポートをお役立てください。あなたが最適な税理士に巡り会えることを心よりお祈り申し上げます。

株式会社アルフェアエンタープライズ  
最適税理士探索ネット運営局